

コミュニティ・スクールの推進

—地域とともにある防災教育—

輝く学校



子どもが輝く 教職員が輝く 地域に輝く

府中町立府中南小学校





1 府中町と本校の概要

2 本校のコミュニティ・スクール

(1) 推進組織と南っこサポーター

(2) 「共育(共に育つ)」で大切にしたいこと

3 地域と共にある防災教育

(1) 「命の教育」

(2) 4年生の防災教育

(3) 5年生の防災教育

4 今後に向けて

1 府中町と本校の概要



2019/8/28

1 府中町と本校の概要



2 本校のコミュニティ・スクール



2 本校のコミュニティ・スクール

学校経営理念：「輝く学校」子どもが輝く 教職員が輝く 地域に輝く

地域にとって学校は希望と理想の象徴です。地域にある学校としての使命を果たしましょう。「輝く学校」とは、子どもたちが、自分の将来への希望や自分の理想とする姿（志）について、自分の言葉で語り、その実現に向けて努力するように導いていく学校です。子どもたちを志のある人間に育てるために、私たちはここにいます。そして共に育ちます。

学校教育目標：自分が学ぶ，みんなと学ぶ

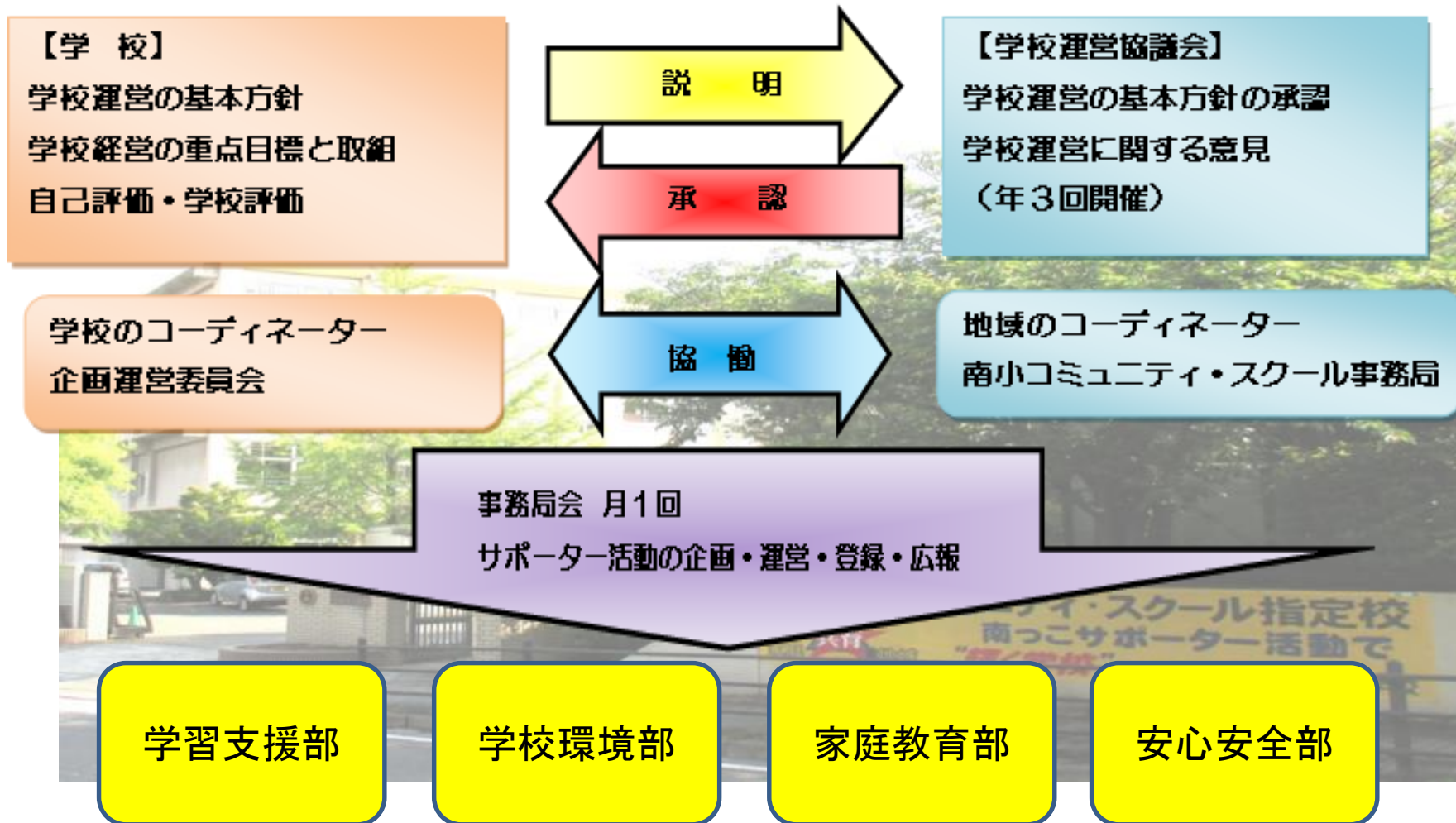
◆めざす学校の姿

命輝く～躍動する動き・元気なあいさつ・明るい歌声・豊かな読書～

- 1 児童一人一人のよさを伸ばし人間力を育てている
- 2 楽しく学ぶ授業を実践している
- 3 教職員一人一人のよさを活かしチーム力を高めている
- 4 地域とともにある学校として「共育」を広げている

2 本校のコミュニティ・スクール

(1) 推進組織



2 本校のコミュニティ・スクール

(2) 南っこサポーター

学校教育目標・学校評価とリンクした活動

サポーターの種類	サポート内容
学習支援サポーター 児童に確かな学力をつける	家庭科実習補助（家庭科の授業のとき2時間） 学習プリントの印刷 英語ルームの企画・運営
学校環境サポーター 児童の豊かな心を育成する	校舎内の掲示物作成（月1回程度） 掃除（教室、トイレ、草抜き、窓拭きなど） 花壇作り（随時） 切花の提供（随時）
家庭教育サポーター 児童のすこやかな体を育成	子育て談話室の企画・運営 バスケットのアドバイス（大会2週間前放課後） サッカーのアドバイス（大会2週間前放課後） 生活アンケート等のデータ処理 子育てに関するお便りの作成・発行
安心安全サポーター 児童の安心・安全な学校生	校内パトロール（週1回程度） ※児童の休憩時間や授業の様子を参観してもらう。 校外学習の引率

2 本校のコミュニティ・スクール

学習支援サポーター

確かな学力をつけるためのサポート
授業支援や印刷支援



★できるときに、
★できることを、
★できるところで、
「あいさつ」、
「声かけ」などを！

学校環境サポーター

豊かな心を育成するためのサポート
大掃除支援や環境整備



★南小に、
いつ来ても、
いつ帰ってもいい。



安心安全サポーター

安心・安全な学校生活のサポート
登下校見守りや防災キャンプ



家庭教育サポーター

心身の健全育成のためのサポート
クラブ活動支援やしゃべり屋



顔と声

★顔の見える関係・笑顔で活動
★声をかけ合い、声(意見)を出し

共育(共に育つ)

あなたも わたしも、
南っこサポーターです！



2 本校のコミュニティ・スクール

(3) サポーター活動の教育効果

サポーター協議会で**当事者意識を高める**



先生の方からもっと遠慮なくこう関わってほしいと指示がある方がよい

「サポーターが印刷依頼用紙を準備するので、先生たちにはそれに記入してもらいたい」



2019/8/28

ヨガ教室

子育て談話室「しゃべり場」¹⁰

2 本校のコミュニティ・スクール

(3) サポーター活動の教育効果

...児童の活動や教職員の意識の変容

**児童⇒委員会活動や挨拶運動, 自主的活動
教職員⇒指導の充実感, 「共に」という意識**



あいさつ運動に立つ児童会執行部



大掃除大人の姿に子供が学ぶ



2019/8/28

1年生を6年生がサポート



学習サポーターが個別で対応



3 地域と共にある防災教育

(1)「命の教育」

生きていることの意味・価値

自分を大切に思う心

つながり合って生きている



よりよく生きる姿勢を育成

3 地域と共にある防災教育

(1)「命の教育」

生活科・総合的な学習の時間における「命の教育」のねらい

高学年

輝く命

- ・輝いている生き方を考える
- ・平和とは何かを考える

中学年

かけがえのない命

- ・命を守ることを考える
- ・どんな命も大切にすると何かを考える

低学年

生きる喜び

- ・体験を通して喜びを感じる
- ・つながる命について考える

3 地域と共にある防災教育

(1)「命の教育」

「命の教育」の4つの視点

① ゲストティーチャーの活用

② 体験的活動を取り入れる

③ 家庭・地域を巻き込む

④ 国語科，道徳との関連を図る



◎ かけがえのない自他の生命を尊重できる
児童を育成できるであろう

3 地域と共にある防災教育

(1) 命の教育 「命の教育プログラム」

命の教育全学年 年間計画一覧表 (体験的学習◎ **ゲストティチャー★** 地域・家庭との連携◇)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年 生活科	<p>「きれいにさいてね」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あさがおを育てることにより、継続して世話をすることの大切さが分かる。 				<p>「いきものとなかよし」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物に命があることに気付く。 			<p>「じぶんでできるよ」◇★◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家の人のために、自分でできることを考え、実践する。 		<p>「もうすぐ 2年生」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年の1年生のために、どんなことをしたらよいか考え、実践する。 		
2年 生活科	<p>「ぐんぐんのびろ」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜を育てることを通して、生長の様子を観察したり自分のかかわりを表現したりする。 				<p>「生きものなかよし 大さくせん」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の育つ場所や成長の様子に関心をもち世話をします。 		<p>「赤ちゃん先生プロジェクト」★◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんに触れ合い、ママ講師から話を聞いたりして、自分の成長について考える。 		<p>「あしたへジャンプ」◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長の様子を調べたりまとめたりすることを通して、命の大切さや暮らさについて考える。 			
3年 総合的な学習の時間	<p>「不思議発見！府中町」◎★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中町探検から、さらに自分で調べたい課題を見つけ、調べることができる。 ・安全マップ作りをし、「危険・安全なところ」について認識を深める。 ・府中町の自然や歴史等について、話を聞き調べ学習のきっかけにする。 					<p>「住みよい町にするには」◎★◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みよい町にするために自分たちができることを考え、調べる。 ・保護者に、府中町についてのアンケートを取り、考える手助けになるようにする。 ・盲導犬体験をしたり、疑似体験をしたり、ユニバーサルデザインについて調べたりする。 						
4年 総合的な学習の時間	<p>「自分の命を守ろう」◎★◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育を通して、自分の命を守るために大切なことは何かを考える。 ・学習を通して学んだことをまとめ、地域に発信し、ともに考える。 								<p>「2分の1成人式をしよう」◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年の成長を家の人とともに振り返り、成長、命の重み、親の思い、愛情を感じる。これからの生き方を考える。 			
5年 総合的な学習の時間	<p>「ヒロシマから見つめよう」◎★◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・似島について調べる（資料・現地） ・ヒロシマの被爆の実相とその敬称について学ぶ ・府中町での平和の取り組みを調べる ・調べたことをまとめ、自分自身の平和宣言を書く 								<p>「めざせ6年生」★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーの話を聞いて夢と志を持つ（夢の実現の仕方を学ぶ） ・最高学年としての課題を持つ 			
6年 総合的な学習の時間	<p>「ドリームナビ」★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事についてプロフェッショナルの人から話を聞き、仕事に対する見方を広げる。 				<p>「ドリームナビ」◎★</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人や働く人の話を聞いたり、仕事体験をしたりして、働くことの意味や生き方について考える。 				<p>「ドリームナビ」★◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢について調べ、わかったことや考えたことをドリームナビにまとめる。 			
ひまわり	<p>「野菜を育てよう」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の栽培を通して植物の命を大切に感じる。 				<p>「誕生日会をしよう」◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生を祝い、生まれてきた幸せを感じる。 				<p>「頑張ったことを発表しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命を輝かせたことを発表する。 			

3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

○単元名

自分の命を守ろう

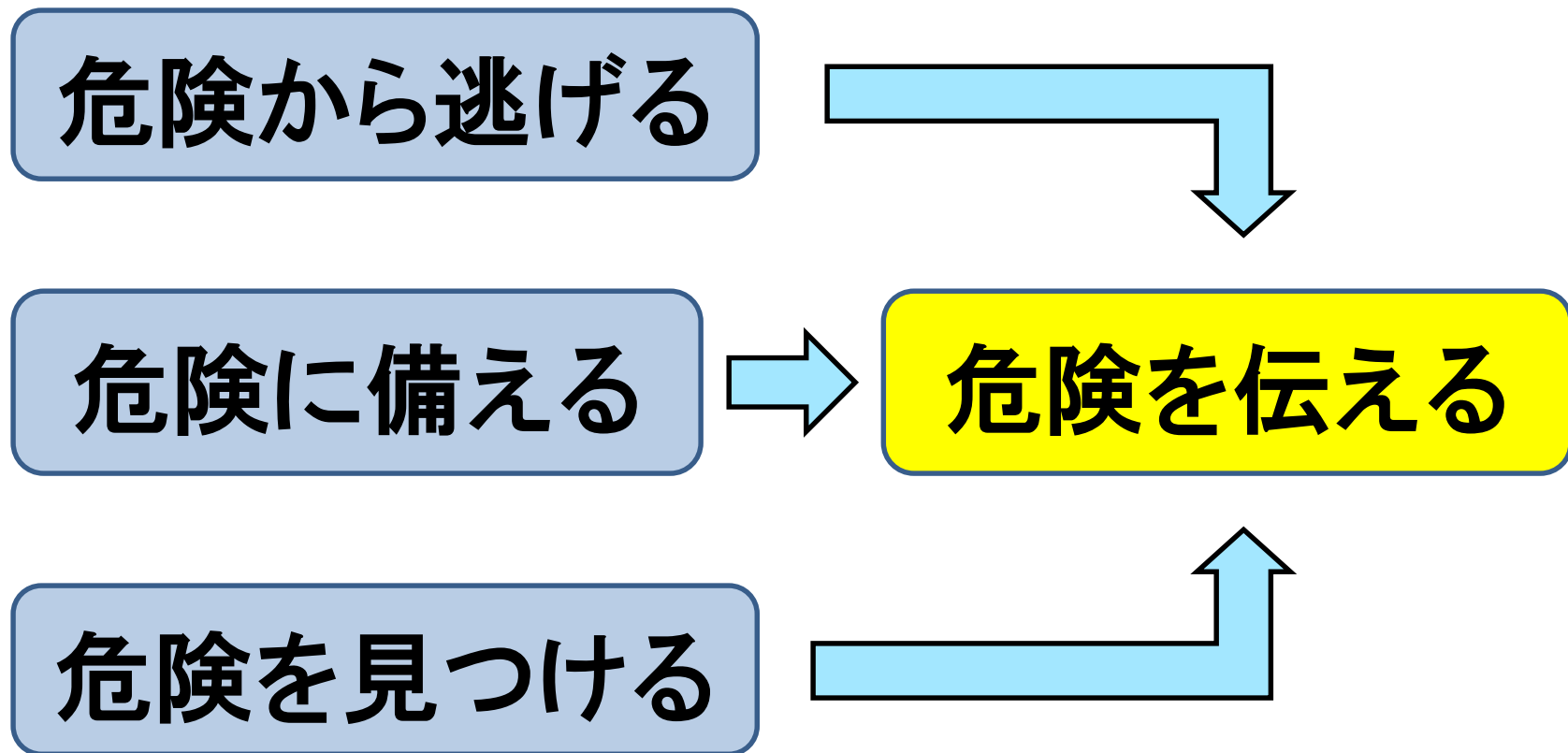
～かけがえのない命を守るために伝えたいこと～

○ねらい

自然災害により引き起こされる危険について学んだことをもとに課題を設定し、自他の命を守るために自分たちにできることを考え、自分の考えや思いを表現する活動を通して、命を守ろうとする態度を育てる。

3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

自分たちが防災ヒーローになって
地域に呼びかけよう



3 地域と共にある防災教育

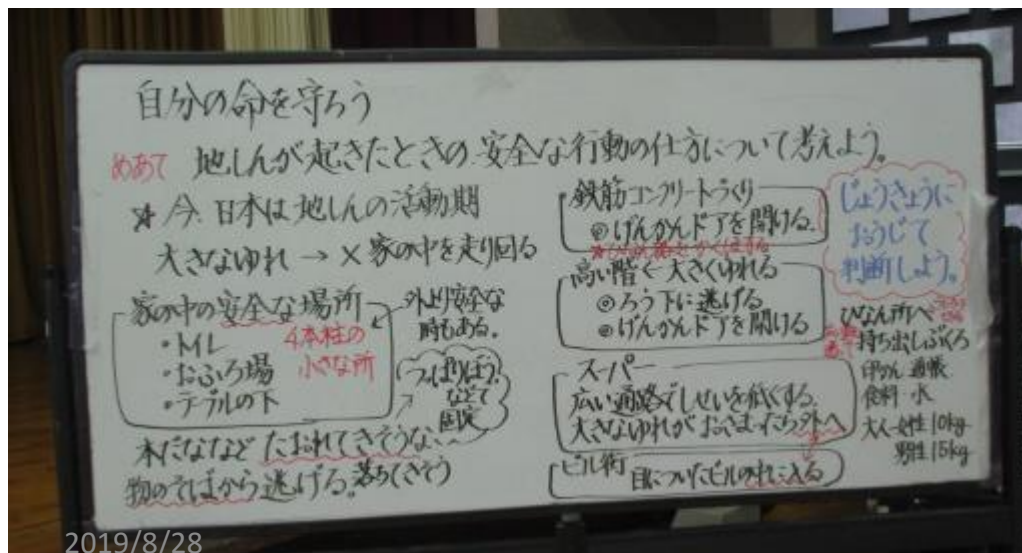
(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点①ゲストティーチャーの活用

ヒーロー I 危険から逃げるんジャー



①地震時の避難の仕方



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点①ゲストティーチャーの活用

ヒーロー I 危険から逃げるんジャー

②安全な避難経路の確認



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点①ゲストティーチャーの活用

ヒーローⅡ 危険に備えるんジャー

①家庭の備え 持ち出し袋



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育



「命の教育」視点③家庭・地域を巻き込む

ヒーローⅡ 危険に備えるんジャー

②避難所における備え

佐藤町長からの回答

防災の気付き 府中町に手紙 府中南小児童

府中町の府中南小の4年生106人が、防災学習で気付いた意見を手紙にまとめ、町に提出した。

手紙は、避難所に指定されている同小体育館にトイレを整備し、食料などを備蓄するよう求める提案が大半。11日、町役場を訪れた児童代表3人が佐藤信治町長に手渡した。

児童は、危険箇所の点検や防災を呼び掛け

府中南小児童の皆さんへ

府中南小4年生の皆さん、しっかりと防災について勉強していることについて、大変励みを感じています。今後もさらに防災の勉強を促していきたいと思います。大切な自分の命、家族の命、さらには地域の人々との命を災害から守るようになることを願っています。

さて、防災の勉強を通して府中南小が避難所に指定されていることを知り、今の府中南小には避難所としての必要な物が揃っていないのではないかと、ということに気づかれたことは大変うれしいことです。

災害が発生し、避難生活を送るために最も必要な物は、食料、水、トイレです。町中町ではこれらの物資を本町二丁目にある防災倉庫に備蓄しています。でも、これらの物資は避難所に届いていないとすぐに使えないことから、それぞれの避難所にこれらの物資を備蓄するように促しています。現在は府中南小が準備していますが、今後は他の小学校や中学校に備蓄することとしています。

皆さんの提案の中で多かったのが、水、食料、毛布、トイレでした。府中町では水、食料、毛布を備蓄していますが、まだ備蓄量が十分とはいえず、今後備蓄を期を置いていくことにしています。

また、トイレの整備ですが、現在、府中南小学校のグランドに1つのシャワールームの設置が完了しています。このシャワールームはトイレが設置されているわけではありませんが、下水道管を設置して、災害が発生した避難所が開設されると、下水道管のマンホールの上にトイレを置き、アクトを敷設します。来年の3月までに既りの小学校、中学校に同じように設置する工事を行っているところで、さらに音楽祭の日までに、桜並木公園、体育館公園、くさのさやでも設置することとしています。

その他の意見は洗剤、シャワーや風呂用の設置というもありました。毎日に避難所としては必要なものですが、平時時に必要とするものではないことから、即時設置するのではなく、災害時に自衛隊等にお預けしてこれを設置することとしています。

皆さんは今後も防災に対するさらなる勉強を促していきたいと思います。府中町が災害に対して強く、安全で、安心して住める町にしていきたいです。

平成29年12月21日

府中町長 佐藤 信治

府中南小4年生の皆さんへ

府中南小4年生の皆さん、しっかりと防災について勉強していることについて、大変励みを感じています。今後もさらに防災の勉強を促していきたいと思います。大切な自分の命、家族の命、さらには地域の人々との命を災害から守るようになることを願っています。

さて、防災の勉強を通して府中南小が避難所に指定されていることを知り、今の府中南小には避難所としての必要な物が揃っていないのではないかと、ということに気づかれたことは大変うれしいことです。

災害が発生し、避難生活を送るために最も必要な物は、食料、水、トイレです。町中町ではこれらの物資を本町二丁目にある防災倉庫に備蓄しています。でも、これらの物資は避難所に届いていないとすぐに使えないことから、それぞれの避難所にこれらの物資を備蓄するように促しています。現在は府中南小が準備していますが、今後は他の小学校や中学校に備蓄することとしています。

皆さんの提案の中で多かったのが、水、食料、毛布、トイレでした。府中町では水、食料、毛布を備蓄していますが、まだ備蓄量が十分とはいえず、今後備蓄を期を置いていくことにしています。

また、トイレの整備ですが、現在、府中南小学校のグランドに1つのシャワールームの設置が完了しています。このシャワールームはトイレが設置されているわけではありませんが、下水道管を設置して、災害が発生した避難所が開設されると、下水道管のマンホールの上にトイレを置き、アクトを敷設します。来年の3月までに既りの小学校、中学校に同じように設置する工事を行っているところで、さらに音楽祭の日までに、桜並木公園、体育館公園、くさのさやでも設置することとしています。

その他の意見は洗剤、シャワーや風呂用の設置というもありました。毎日に避難所としては必要なものですが、平時時に必要とするものではないことから、即時設置するのではなく、災害時に自衛隊等にお預けしてこれを設置することとしています。

皆さんは今後も防災に対するさらなる勉強を促していきたいと思います。府中町が災害に対して強く、安全で、安心して住める町にしていきたいです。

平成29年12月21日

府中町長 佐藤 信治

3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点②体験的活動を取り入れる

ヒーローⅢ 危険を見つけるんジャー

① 地震時の地域の危険(防災マップ作り)



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点①ゲストティーチャーの活用

ヒーローⅢ 危険を見つけるんジャー

② 地震時の家の中の危険



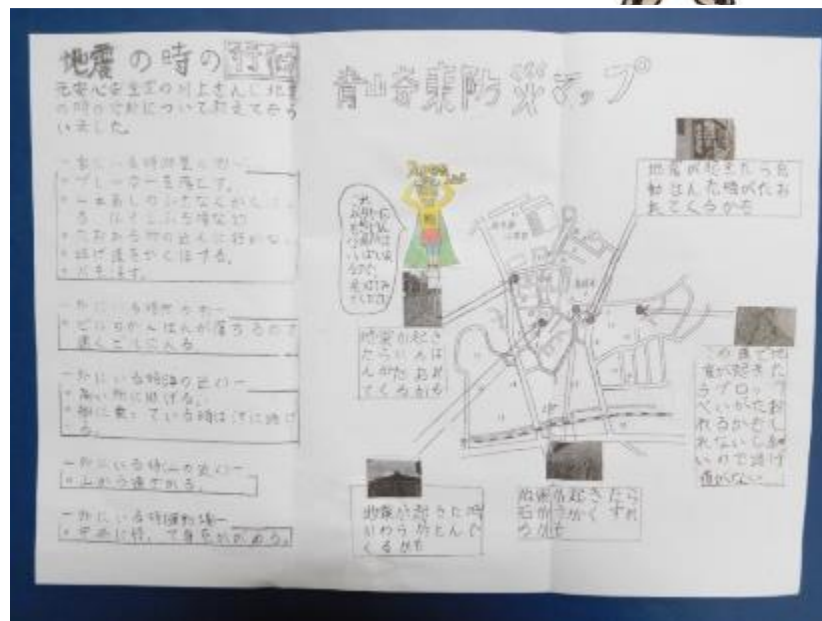
3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点④国語科との関連を図る

ヒーローⅣ 地域に伝えるんジャー

① リーフレット作り



3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点③家庭・地域を巻き込む

ヒーローⅣ 地域に伝えるんジャー

② 親子防災会議



親子防災会議 4年()

お家の方へ
「自分の命を守る」学習のまとめとして、家族で「我が家の防災」について考えてほしいと思っています。お手紙ですが、家族で時間をとって、次のことについて、話し合ってみてください。子どもたちがまとめたリーフレットを添えて、それも親子防災会議の参考に請求してください。

1 自分や家の危険(けん)なところを調べて、対策(たいさく)を考えてみましょう。

危険(けん)なところ	どんな対策(たいさく)をする?
例：寝る場所にあるタンスが固定していないので、たおれるかもしれない。	タンスがたおれないように固定する。
まどガラスが大きいので、ガラスが割れたときけんせいのがある。	スリッパを揃える。まどの近くにはいらない。
大切なものをかざしておかない。	ものを重ねておかない。(あれもこれもどどこ)

2 わが家で実践した方がよいことは、何でしょう。〇をつけて、話してみましょう。
()非常食や水など災害に必要な物の備え(3日分×家族数がめやす)
(〇)非常持ち出し品の備え(非常持ち出し品は、子どもの経験。もしくはホームページ「広島の防災」はじめての防災)を参考にしてみてください。【家族で話したり、見直したりしたこと】

3 家族でたしかめたり、相談したりしましょう。
※府中町総合防災マップ(府中町のホームページよりダウンロードできる)を参考に
〇ひなん場所 地震(けん)は交流センター
大雨(たいよう)は交流センター
〇家族がばらばらな時に、災害が起きたらどうするか、相談しましょう。
【相談したこと】

4 ひなん経路について、家族で話しながらリーフレットの地図に書き込んでみましょう。実際には、家族で歩いてみるとういでもよいですね。

☆お家の方へ 子どもたちが作ったリーフレットを添えた感想をお願いします。

親子防災会議のやりかたや、危険な場所などは、防災マップや、消防団のホームページなどでよく調べて、いざという時に、実践することが大切です。ぜひ、実践しよう！

1 自分や家の危険(けん)なところを調べて、対策(たいさく)を考えてみましょう。

危険(けん)なところ	どんな対策(たいさく)をする?
例：寝る場所にあるタンスが固定していないので、たおれるかもしれない。	タンスがたおれないように固定する。
まどガラスが大きいので、ガラスが割れたときけんせいのがある。	スリッパを揃える。まどの近くにはいらない。
大切なものをかざしておかない。	ものを重ねておかない。(あれもこれもどどこ)

家族がそれぞれ交流センターで待たせ、近くの顔みしりの人に助けを求める。

現金、つう帳、いんかんなどのきょうひんはまとめてふくろの中に入れていつでも、もち出せるような場所においておく。役あたりふんたんに、ついてはくは、ドアや、まどの、出口を開ける。母は、火のものをかくじん。父は、弟とあひょう品をもち出し。

親子防災会議のやりかたや、危険な場所などは、防災マップや、消防団のホームページなどでよく調べて、いざという時に、実践することが大切です。ぜひ、実践しよう！

3 地域と共にある防災教育

(2) 4年生の防災教育

「命の教育」視点③家庭・地域を巻き込む

ヒーローⅣ 地域に伝えるんジャー

③ リーフレットを地域に配る



3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

防災キャンプ

【目的】

地域の方と関わりながら、非常時の実践力や防災意識の向上を図る。

【流れ】

- 8:40～9:10 大雨災害を想定した防災教室
- 9:20～10:20 炊き出し体験
- 10:30～11:30 演習「災害発生時の行動(自助)について」
- 11:40～13:00 昼食・見学
- 13:10～13:40 講義「避難所生活について」
- 13:45～14:30 実技体験
- 14:40～15:10 避難所模擬運営
- 16:30～ 引き渡し訓練

3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

8:40～9:10 大雨災害を想定した防災教室



全校児童と保護者を対象に、府中町消防本部の瀬戸さんが大雨災害から命を守るための行動について講話をしてくださいました。

3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

9:20～10:20 炊き出し体験

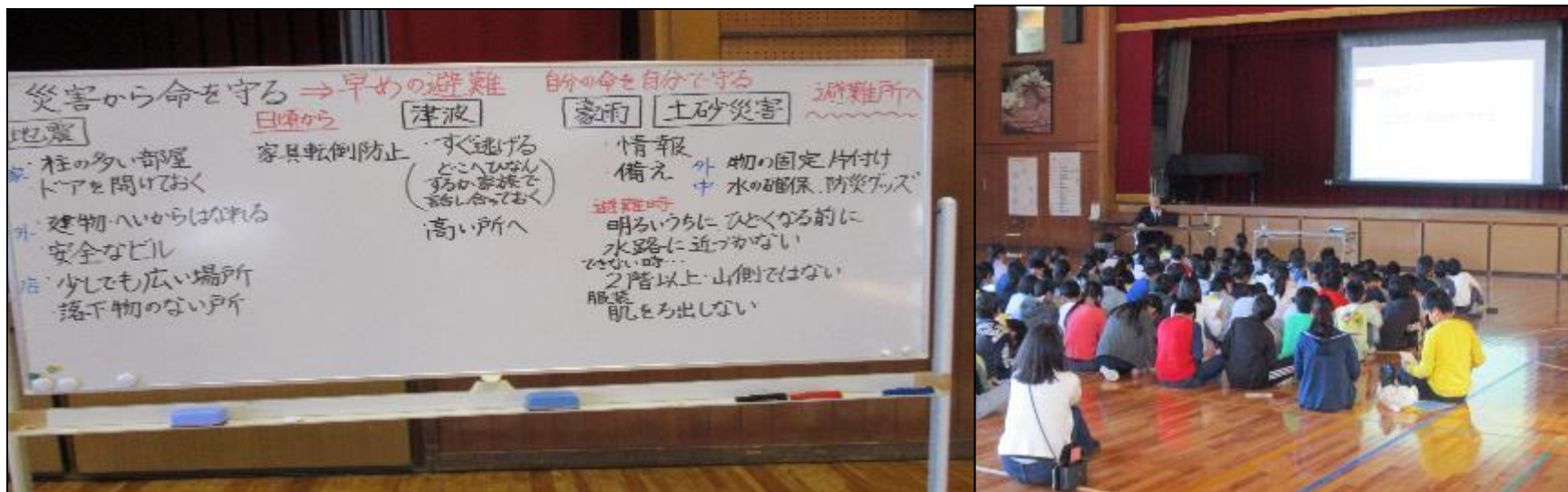


府中町災害ボランティア赤十字奉仕団，府中町女性会，南っこサポーター，保護者の皆さんと一緒に，災害用炊飯袋（ハイゼックス）を使った炊き出し体験をしました。府中町（安心安全室）から提供していただいた備蓄米（アルファ化米）も併せて炊きました。

3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育

10:30~11:30 演習「災害発生時の行動(自助)について」



5年生と保護者を対象に、再び府中町消防本部の瀬戸さんによる演習。災害の種類や恐ろしさ、発生時における行動(自助)について話し合いました。

3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育

11:40～13:00 昼食・見学



3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

11:40～13:00 昼食・見学（マンホールトイレ見学）



昨年4年生の防災教育で、南小の体育館が実際に避難所となった場合、トイレは足りるのか、備蓄倉庫が必要なのではないか…などと考えた子供たちは、自分たちの考えを府中町長へ伝えようと手紙を書き、町長に手渡しました。数日後、町長からマンホールトイレを設置するとの回答をもらい、自分たちの思いを受け止めてもらったことに大変喜びました。今回、そのマンホールトイレを実際に5つ組み立てました。トイレ初使用でした！



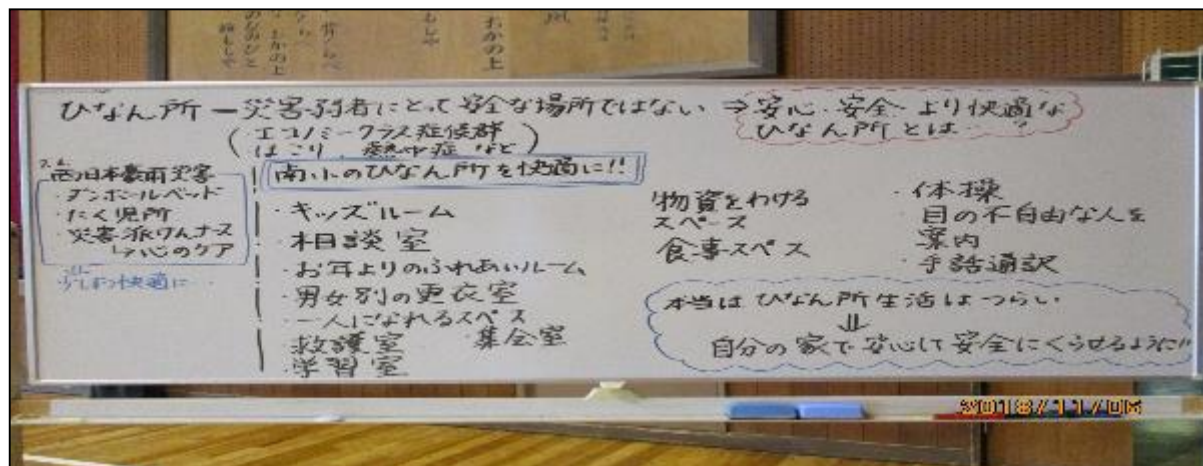
3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育

13:10~13:40 講義「避難所生活について」



元府中町安心安全室長の川上さんから避難所で生活する留意点を教えてもらいました。



3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

13:45～14:30 実技体験

○応急担架体験, ○マスク・スリッパ作り, ○パーテーション作り



3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

13:45～14:30 実技体験

○段ボールベッド作り, ○車いす体験, ○応急処置



3 地域と共にある防災教育

(3)5年生の防災教育

13:45～14:30 実技体験 ○避難所模擬運営



実際に避難者が来校されたことを想定した実演を行い、学習のまとめをしました。

3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育

16:00～ 引き渡した訓練



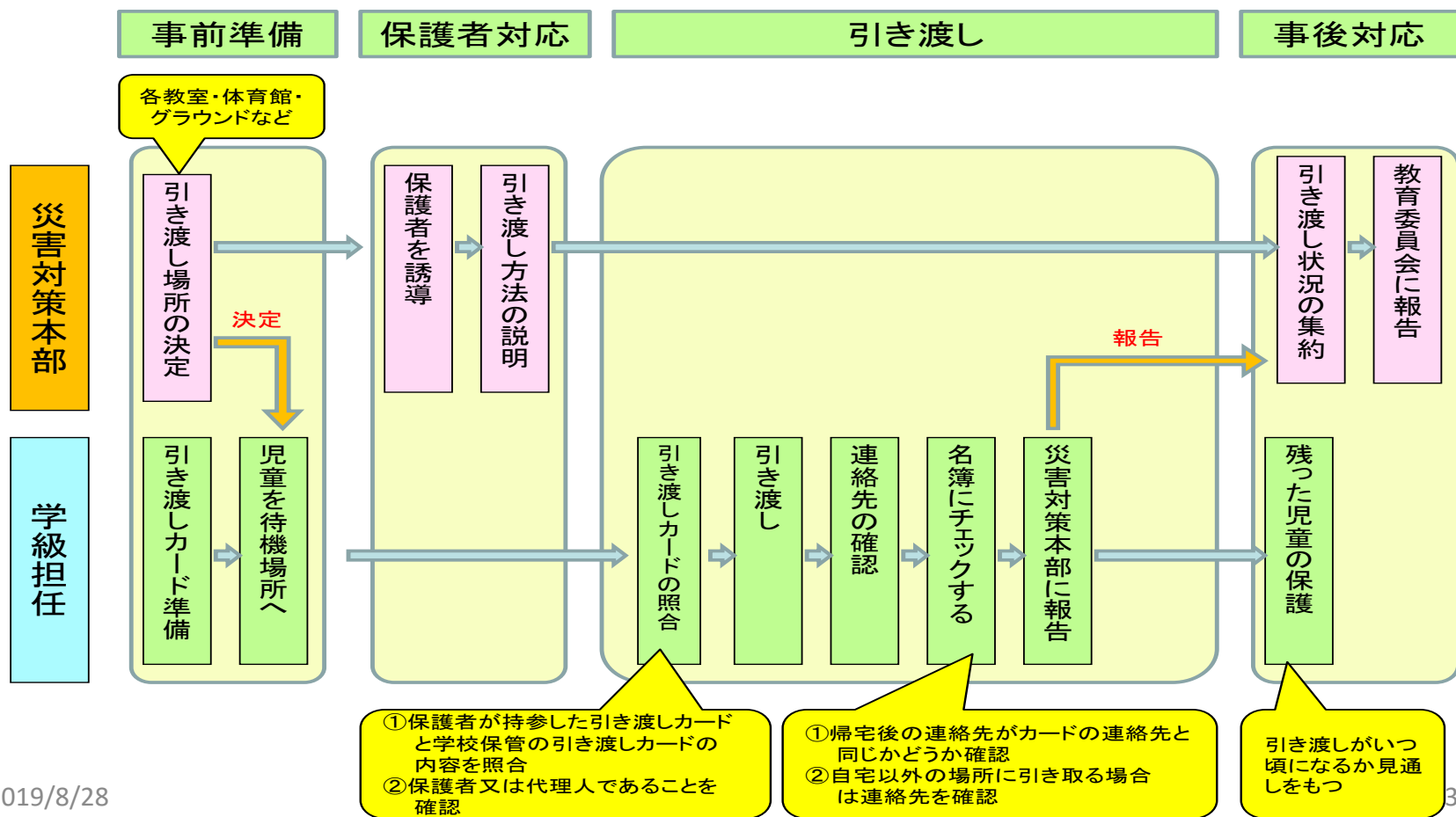
5年生保護者の皆さんと教職員が、児童の引き渡し訓練を行いました。学校・保護者・児童が引き渡しカードを基に確認しながら、確実に児童を引き渡すための訓練です。

3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育

16:30～ 引き渡し訓練

引き渡し手順



3 地域と共にある防災教育

(3) 5年生の防災教育



ご協力いただいた団体の方々

- 府中町消防本部
- 府中町生活環境部（安心安全室）
- 府中町社会福祉協議会
- 府中町災害ボランティア赤十字奉仕団
- 青崎東サンヒルズ町内会自主防災会
- 府中町女性会
- 大塚製薬（株） 広島支店
- ミドリ安全南広島（株）
- 府中南小学校PTA
- 南っこサポーター

3 地域と共にある防災教育

4 年生の感想

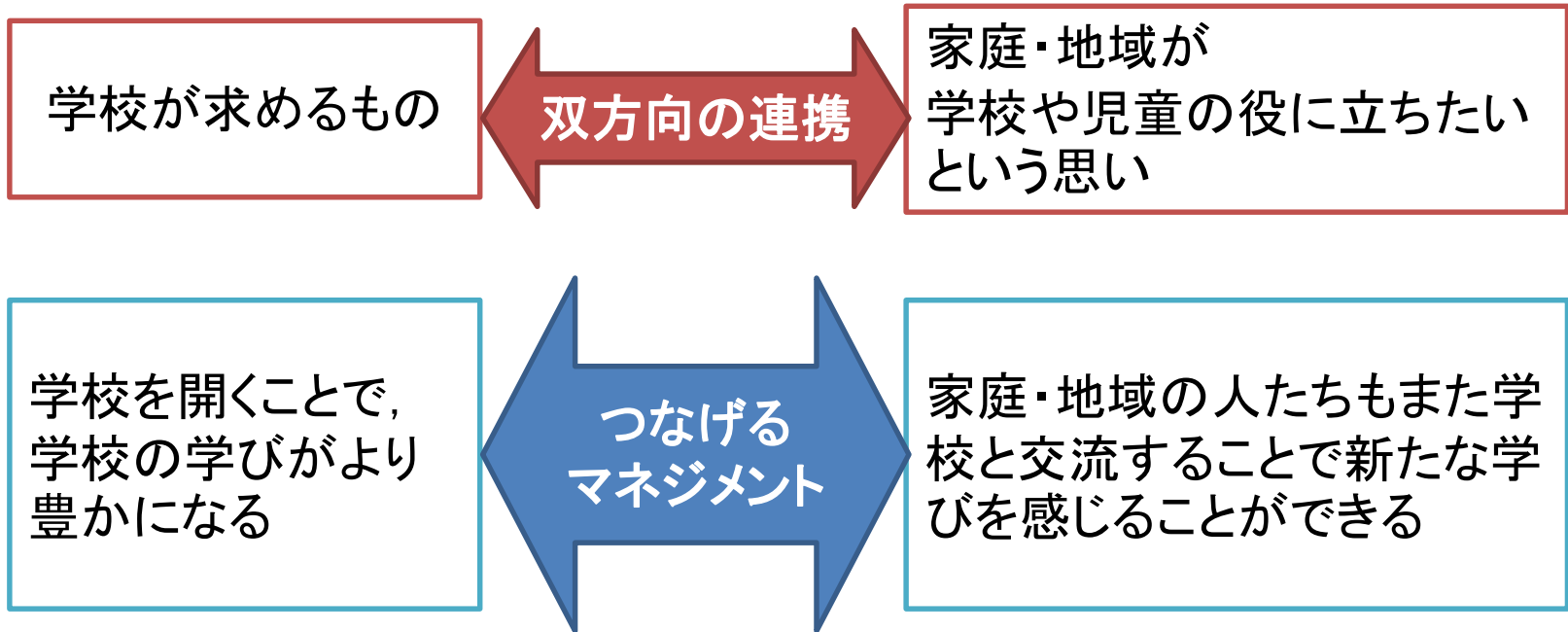
自分の命の他に、人の命も大事だということが分かりました。自分の命や人の命を、災害のとき、協力して、守っていかないといけないと思いました。

5 年生の感想

避難所の生活について考えました。昔より安心安全で快適な場所になってきていたことを初めて知りました。その後の体験では、避難所での生活を快適にできるパーテーション(仕切り)を作りました。段ボールは強度が強いので万能なものだと分かりました。そして、実際に避難者がきたらどうすればいいかを考え、その人に必要なことをする実演をしました。

ぼくは、この防災キャンプで大人の方々は様々な取組をしていることを知りました。ぼくもいつ自然災害が起きても命を守れるように備えたりして行動することが大切と分かりました。そして行動に起こしていきたいです。

4 今後に向けて



学校



つなぐ役目



共育の姿

